

インドの「判断基準」導入に向けたキックオフ会議に専門家を派遣しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（国際エネルギー使用合理化等対策事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、今年度のインド向け事業として、インド産業部門への「判断基準」の導入支援を実施しています。去る11月17日（木）、インド省エネルギー局（BEE: Bureau of Energy Efficiency）が主催するキックオフ会議に専門家を派遣し、「判断基準」及びそれに基づく「管理標準」の概要等を説明し、「判断基準」導入プロジェクトの立上げに協力しました。



キックオフ会議の様子



日本の説明に聞入るインド企業代表



集合写真

今年度の事業として日本側から、インド産業部門における重要な省エネ政策である「省エネルギー達成認証制度」（PAT制度）の効果的推進を支援する目的で、日本で実績のある「判断基準」の導入を提案したところ、インド省エネルギー局もその有効性を認め、導入に向けて検討を開始することになりました。そこでインドの主要エネルギー消費産業7分野（鉄鋼、火力発電、石油精製、セメント、繊維、肥料、送配電）から代表的企業各1社を集め、デリーにある同局大会議室において、キックオフ会議が開催されました。日本側からの説明に対し、活発な議論がなされました。次のステップとしては、「判断基準」及び「管理標準」をより深く理解するため、本年1月下旬、日本でワークショップを開催することになっています。